

質疑応答(要旨)

Q1	為替変動により業績にどのような影響がありますか？
A1	<p>当社の主力製品である金(Au)などの貴金属や銅(Cu)は、米ドル建てで価格が決定し、その後為替を反映させて円建てで価格が決まるため、為替の変動により影響を受けます。</p> <p>円安は金や銅の価格を押し上げる要因であり、当社のビジネスモデル上、貴金属価格が高い方が業績にプラスの影響となります。</p> <p>当然、円安に伴う資材価格の高騰や材料費の高騰など、デメリットもございますが、当社全体として、円安はプラス要因であると考えております。</p> <p>一方で、仕入から販売までの間で貴金属の価格が急激に変動するリスクを低減するために仕入と同時に、販売先と販売価格を約定する「先渡取引」を利用しております。</p>
Q2	成長戦略や経営戦略について教えてください。
A2	<p>当社主力事業である貴金属事業は、主に金(Au)を取り扱う事業であり、業績が貴金属相場に左右されやすいという側面がございます。</p> <p>相場に左右されずに安定した収益を確保していくためには、新しい事業セグメントを創出することが重要だと考えており、事業ポートフォリオの再構築に取り組んでおります。</p> <p>その考えの元、現在、特に注力しているのは、脱炭素化に向けて需要の拡大が見込まれるEVのリチウムイオン電池(以下 LiB:Lithium-ion Battery)をリサイクルするLiB再生事業です。</p> <p>現状はLiB再生事業の収益化に向けた投資にリソースを集中させ、次の柱とすることで、収益力の向上とさらなる企業価値の向上を図っていく方針です。</p>
Q3	他社と比較したアサカ理研の強みについて教えてください。
A3	<p>当社は創業時から磨き続けている技術力を強みとしており、当社のコア技術には、分離・精製技術と選択的剥離技術がございます。</p> <p>分離技術については、薬液に有価金属を溶かし、特定の金属のみをスピーディーかつ高い回収率で抽出する技術でございます。</p> <p>選択的剥離技術は、独自の薬液配合や溶解速度をコントロールすることで、お客様からお預かりした母材を痛めず、高品質な洗浄を可能にしています。</p> <p>いずれの技術も貴金属事業にて培われた当社の強みであると認識しております。</p>
Q4	LiB再生事業の前提となる電気自動車(EV)の市況についてどのように見通していますか？
A4	<p>EVの世界新車販売台数は、2023年は前年比で約35%増でした。</p> <p>2024年の車載用LiBの世界廃棄・回収重量見通しについても、2023年見込みから24%ほど増加する見通しです。</p> <p>足もとではEVの普及ペースに減速傾向がみられていても認識しておりますが中長期的には、生産台数、廃棄数量のいずれも増加していくと見込んでおります。</p> <p>一方で、当社が現在ターゲットとして営業活動を行っている日本国内市場においては、海外と比較するとEV流通が現時点では進んでおらず、国内で使用済みの廃棄されるLiBが大量に発生するのは、2030年代以降と見込んでおります。</p> <p>ただし、当社は生産工程で廃棄されるLiBもターゲットとしてリサイクルを行う計画であり、2028年の量産稼働開始の時点で原材料確保の目途は立っております。</p> <p>足もとのEV市況を踏まえたうえで、2020年台後半からしっかりと収益を確保できると試算しております。</p>

Q5	新規事業を進めていくにあたり、専門的な技術や知識を保有する人材の確保が必要になると思うが、具体的な方針を教えてください。
A5	<p>若手が果敢にチャレンジできる環境整備に注力し、成長機会の創出に積極的に取り組んでいます。実例として、入社1・2年目であってもLiB再生事業の立上げに大いに貢献している若手従業員もおります。</p> <p>環境整備の根幹として、昨年2023年4月に人事制度の刷新をいたしました。年功的処遇を大幅に見直し、成果重視の処遇へ切り替え、適切に評価・処遇される仕組みとしたことが力強い後押しになっています。</p> <p>さらに、現在、専門職制度の導入準備を進めており、既存の従業員のリテンション強化と中途・新卒での外部採用強化を図っています。</p>
Q6	業績に影響を与えるリスクについて教えてください。
A6	<p>当社は電子デバイスメーカーなどの工場の生産過程で発生する電子部品の端材や不良品から金(Au)などの有価金属を回収するビジネスを行っております。</p> <p>主要なお客様が減産、または生産停止となると、当社の業績に影響を及ぼす恐れがあります。</p> <p>こうしたリスク回避のために当社は新規顧客の獲得により、特定のお客様への依存度を低下させるほか、LiB再生事業をはじめとする新規事業の創出により、外部要因に大きな影響を受けないポートフォリオの構築に努めてまいります。</p>
Q7	グローバル展開は考えていますか。
A7	<p>海外展開につきましては現時点で具体的な計画はございませんが、LiB再生事業や今後創出していく新規事業においては海外市場も視野に検討を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>事業戦略につきましてはマーケット動向や当社経営資源、必要コストなどを総合的に勘案してまいります。</p>
Q8	貴社のパーパスについて教えてください。
A8	<p>当社は、『豊かな創造性を発揮し社会貢献を果たす』という社是のもと、リサイクルという概念が社会に浸透していない時代から、資源のリサイクル、有効活用を通じて環境問題の解決を目指してまいりました。</p> <p>今後もこちらの社是に則り、限りある資源のリサイクルを通じてCO2排出量の削減や鉱山開発に伴う環境破壊といった環境問題や社会問題の解決に努め、人類と地球の持続可能性に貢献してまいります。</p>

(ご留意事項)

この資料は、当社説明会にご参加できなかった方のためのご参考として掲載しているものであり、説明会で話した内容をそのまま文章に起こしたものではありません。ご了承ください。